

3 地下水揚水量の状況

本県の地下水利用状況は、用途別では工業用及び水道用で約7割を占めている。1975年度に約2,500千 m^3 /日あった揚水量は、尾張地域の揚水規制や工業用水道への水源転換により大幅に減少し、2019年度は762千 m^3 /日となった。(図3-1、資料-5)

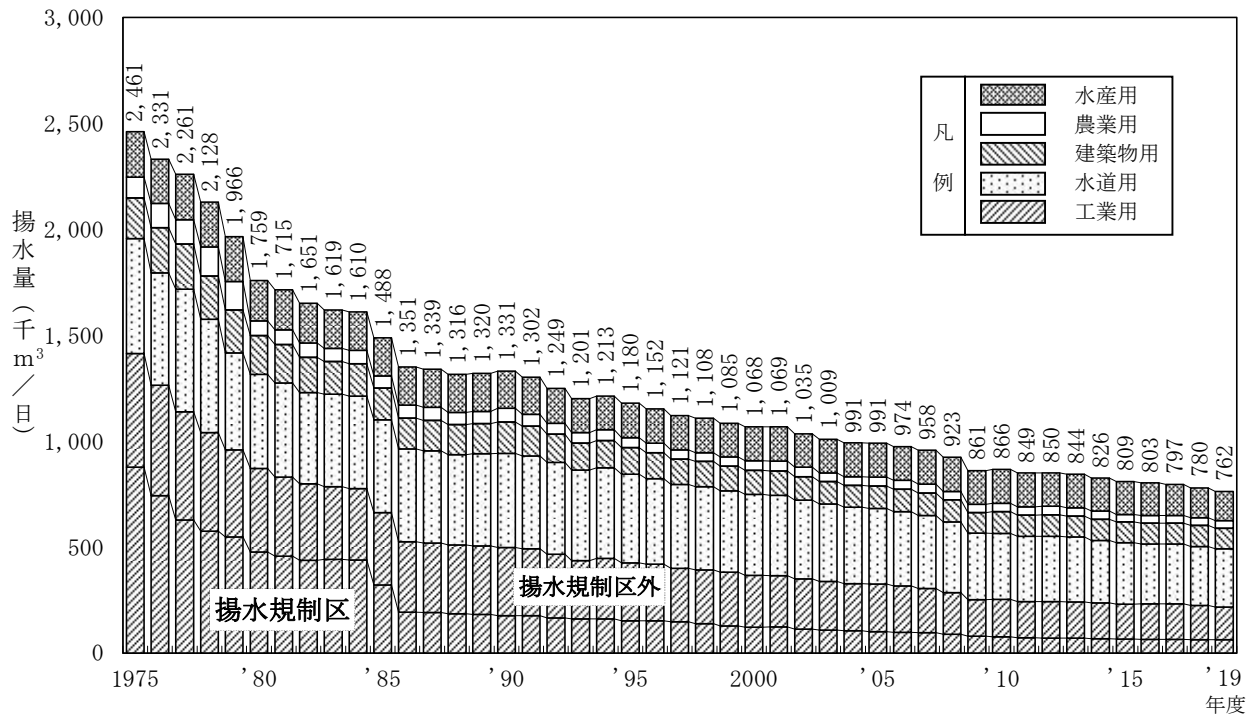


図3-1 愛知県の地下水総揚水量

(1) 尾張地域 (規制区域内)

1974年の愛知県公害防止条例(現:県民の生活環境の保全等に関する条例)改正による揚水規制を始め、1980年の木曾川用水の通水、1985年の尾張工業用水道の給水等の対策により地下水揚水量は大幅に減少し、2019年度は274千 m^3 /日となり、1975年度と比較すると約19%である。(図3-2)

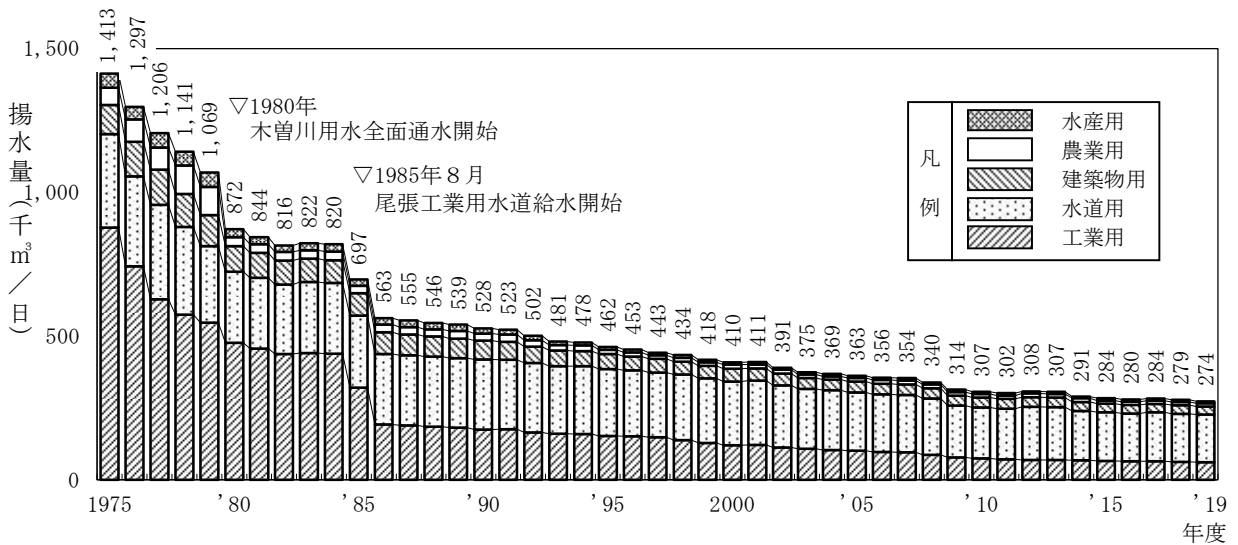


図3-2 尾張地域(県民の生活環境の保全等に関する条例の規制区域19市町村)地下水揚水量

(2) 尾張地域（規制区域外）・知多地域

2019年度の地下水揚水量は76千 m^3 /日で、1975年度と比較すると約37%である。

(図3-3)

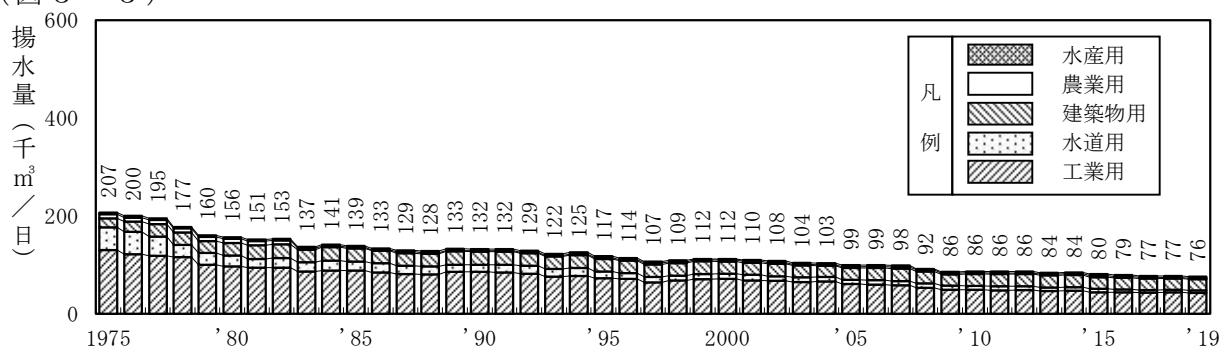


図3-3 尾張地域（規制区域外）・知多地域地下水揚水量
年度
(規制区域外の尾張地域5市1町+知多地域5市5町)

(3) 西三河地域

2019年度の地下水揚水量は182千 m^3 /日で、1975年度と比較すると約40%である。

(図3-4)

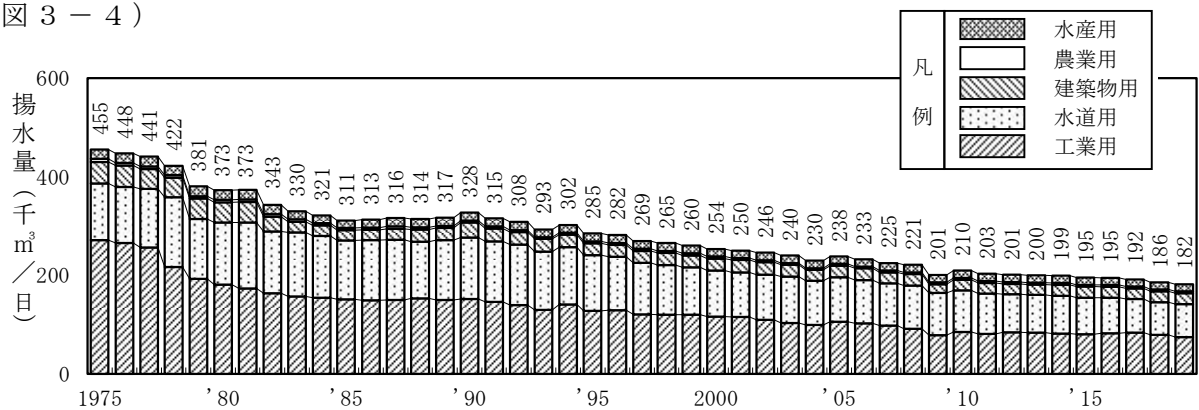


図3-4 西三河地域地下水揚水量
年度

(4) 東三河地域

2019年度の地下水揚水量は230千 m^3 /日で、1975年度と比較すると約60%である。

(図3-5)

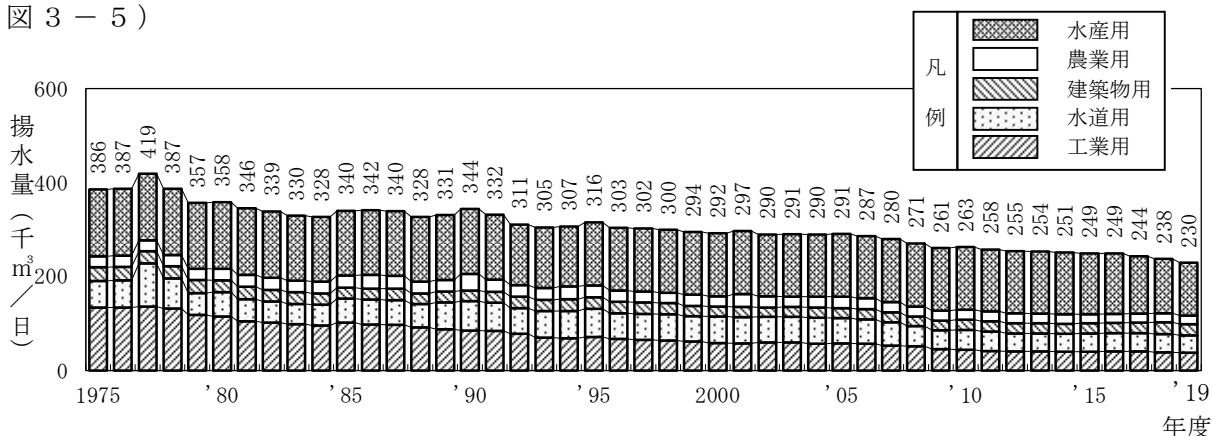


図3-5 東三河地域地下水揚水量
年度